

# ユーマア賞 「昭和と平成」

福島 勇さん (埼玉県)

昭和の土門拳作品と平成の子ども、真面目な観覧者とだらける子どもの対比が良い。厳格なイメージの美術館にそぐわない行動に、ピリっとした面白さがある。



## ドキュメント賞



### 「人間の鎖作戦」

梅津 勘一さん (錦町五丁目)

タイトルから絆やつながりの大切さが見える。一人ではなくみんなで取り組むことで生まれるエネルギーを感じる。作品全体に曲線の面白さがある。

## 佳作



### 「喜び3倍」

田代 みどりさん  
(宮野浦一丁目)



### 「酒田祭り3景」

土井 栄美里さん (光ヶ丘一丁目)



### 「秋日和」

三浦 民雄さん (新橋二丁目)



### 「松原四季彩」

佐々木 吉治さん (若宮町二丁目)

### 「雑魚しめ」

三澤 清明さん  
(駅東二丁目)

# 合併10周年 記念賞

## 「胤保翁探訪」

塚越 文昭さん (字内町)

合併したことで酒田に城下町文化が加わったことを実感させる。松森胤保という郷土の偉人を、作品を通して知ることができる。雪を被った像の感じがいい。



# 新人賞

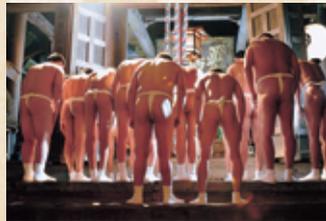
## 「納涼まつり」

高橋 良政さん (住吉町)



## 「運命の二人」

神田 潤さん  
(新橋二丁目)



## 「雄姿」

齋藤 悟さん  
(字金谷)



## 「別れはいやだ」

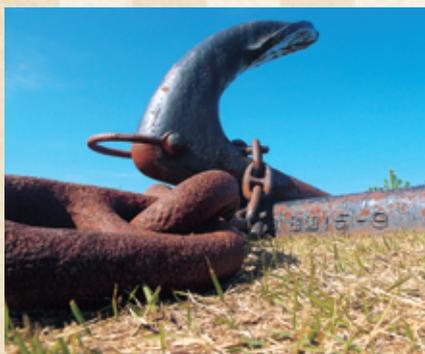
柏舘 光子さん  
(福島県)



## 「市民から ありがとう」

富樫 きく子さん  
(北新橋二丁目)

# ジュニアの部 特選



## 「錆=勲章」

石山 直樹さん (酒田光陵高校)

虫の目で撮影することで、うち捨てられたものの存在感が増している。錆を勲章と捉える感性が新鮮。高校生らしからぬタイトルにも惹かれる。

# ジュニアの部 入選



## 「稲刈り体験」

富樫 菜々子さん (酒田西高校)

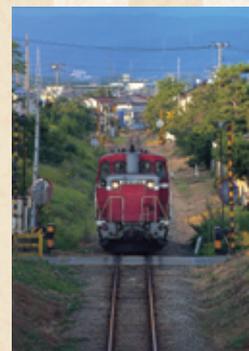
若い人は風景や静物を撮影する作品が多いが、あえて子どもを被写体にした点が評価できる。子どもの表情がいい。



## 「時の流れ」

松田 春花さん (酒田西高校)

ツタと窓に映る空が美しい。何気なく見ればただの古い建物だが、写真になることで新たな発見が生まれる。



## 「ゆうゆう・かんかん」

佐藤 和輝さん (酒田東高校)

力強い作品。左右対称に撮ろうという狙いが感じられる。時間を感じさせないのが面白い。タイトルの意味が気になる。